

11月20日、東京会場にて六段を受審し合格させていただきました。

受審にあたっては当日まで怪我などせぬよう体調管理をして心身の準備をすること、そして審査では基本技をしっかり打つのは当然のことながら応用技、応じ技にも必ず挑戦すると心して臨みました。

お陰様で合格できましたのは吉山会長をはじめとする諸先生方の愛情あふれるご指導ご鞭撻のお陰であり、心から感謝申し上げます。

いわゆる「リバ剣」の一人である私は転居を機に40代半ばを過ぎて新宿剣連に入門したのですがその時はまだ二段でした。最初の頃は伊澤先生、松本先生に礼儀作法のいろは、袴の畳み方から教えていただいたのを懐かしく思い出します。以来、勝負や巧拙にとらわれない剣を学び直す喜びとその学びを通じて社会人としての生き方を省みる意義は大きく、新宿剣連で剣道を再開して良かったとつくづく実感しています。

また、海外赴任のため剣連での稽古ができない期間が何度かありましたが、その間も東京から激励をいただきました。特にアルメニアでの剣道普及に際しては当時の真砂会長を先頭に新宿剣連の全面的なご支援をいただきました。この機会を借りてお世話になった皆様に改めて感謝を申し上げます。

六段昇段をアルメニアの剣友に伝えたところ祝意の返事があり、このコロナ禍で苦しいながらも稽古を続けているとのことでした。コロナが落ち着いたらまたアルメニアへ出かけようかと考えているところです。

新宿剣連に入門した際、五段まで頑張ろうという目標を立てましたので一つ上の六段にまで昇段できたのは大変幸せなことです。これからも生涯剣道を目指して、健康を保ちつつ稽古に励みたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

2021.12.03

田口 栄治